

各 位

上場会社名	株式会社 ディスコ
代表者	代表取締役会長 溝呂木 斉
(コード番号)	6146)
問合せ先責任者	IR室長 小澤 伸一郎
(TEL)	03-4590-1111)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の動向等を踏まえ、平成27年5月12日に公表した4-9月期(上半期)業績予想および配当予想を下記の通り修正し、これまで未開示であった4-12月期(第3四半期累計期間)の業績予想を開示いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	71,100	18,400	18,500	13,300	372.54
今回修正予想(B)	66,700	17,700	17,600	12,100	338.78
増減額(B-A)	△4,400	△700	△900	△1,200	
増減率(%)	△6.2	△3.8	△4.9	△9.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	65,198	13,724	13,730	9,755	287.51

平成28年3月期第3四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	94,600	23,500	23,600	16,400	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第3四半期実績 (平成27年3月期第3四半期)	92,321	19,968	19,457	14,122	412.92

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	61,200	14,300	16,500	12,000	336.13
今回修正予想(B)	56,800	14,200	17,200	12,600	352.78
増減額(B-A)	△4,400	△100	700	600	
増減率(%)	△7.2	△0.7	4.2	5.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	56,260	10,493	13,008	9,190	270.85

平成28年3月期第3四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭

前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	80,000	18,800	22,000	16,000	447.97
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第3四半期実績 (平成27年3月期第3四半期)	79,184	15,229	17,916	12,596	368.27

修正の理由

当社が事業展開している半導体・電子部品業界の市場環境と直近の業績動向等を踏まえて当社グループの業績予測を精査した結果、前回発表の4-9月期(上半期)の業績予想を修正するとともに、これまで未開示であった4-12月期(第3四半期累計期間)の業績予想を開示いたします。

(注)
上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年5月12日発表)	—	94.00	—	—	—
今回修正予想	—	85.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成27年3月期)	—	72.00	—	88.00	160.00

修正の理由

今年度の上期業績予想の変更に伴い、当社の配当政策を適用した結果、配当金を上記の通り修正いたします。
なお、期末配当は現時点では未定です。

※当社配当政策について:

当社は、株主の皆様への利益還元重視の姿勢を明確にするため、配当政策は業績連動型で「連結半期純利益の25%」としております。ただし利益水準に関わらず、安定配当として、半期10円(年20円)の配当金を維持いたします。

また、年度末に赤字の場合を除き、配当及び法人税等支払い後の現預金残高が技術資源購入予備資金及び設備拡張資金、有利子負債返済資金等の予定必要資金額を超過した場合は、超過金額の3分の1を目処に配当として上乘せいたします。

なお、3期連続で連結純利益が赤字になった場合は上記、安定配当の20円を見直す可能性がございます。

以 上